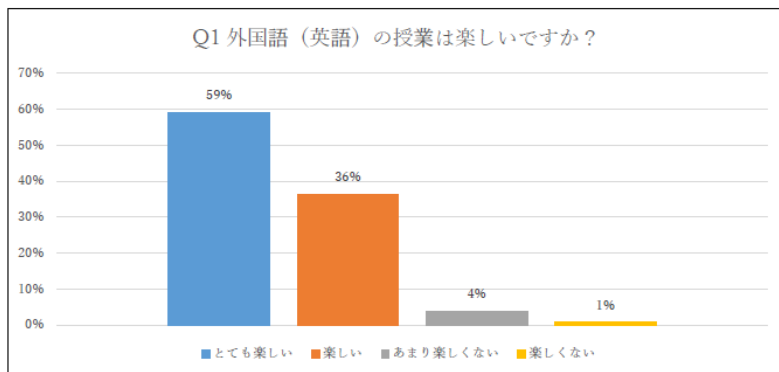
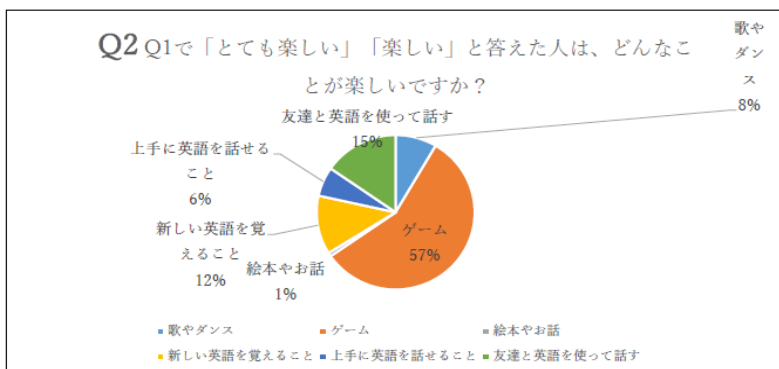


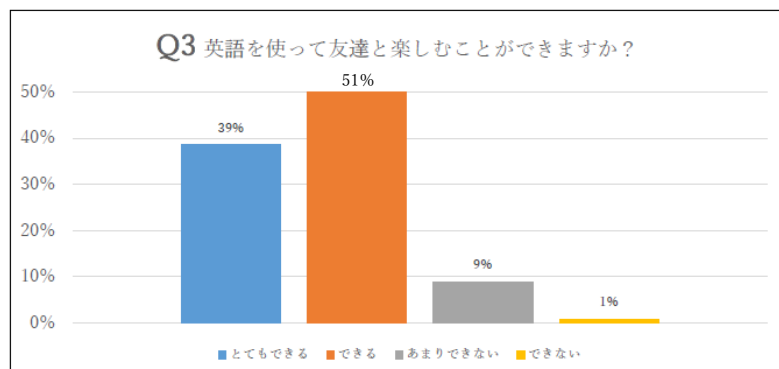
令和7年度外国語（英語）の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察（三角小）



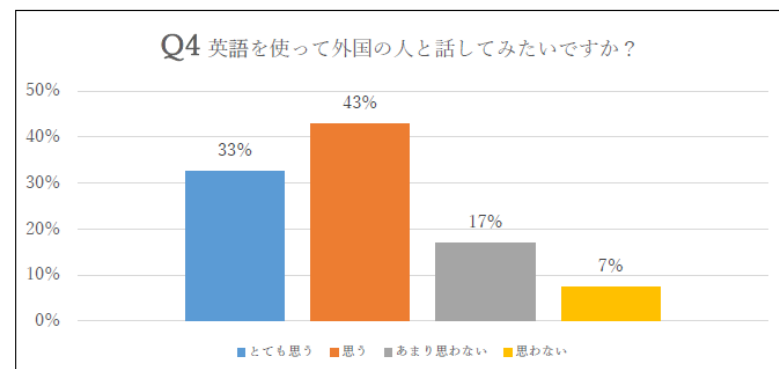
【Q1について】
 95%の児童が「楽しい」と回答しており、楽しみながら学習しているといえる。今後もさらに学習意欲を高める学習内容の工夫を図る。しかしながら、若干の児童に対して楽しいと感じる教材研究や授業展開の工夫改善も必要である。そのために、ALTとの協議や打合せの時間を確保する。



【Q2について】
 「ゲーム」の割合が半数をこえており楽しく授業に臨んでいるといえる。一方、英語を話せるようになりたいと回答している児童が少しずつ増加傾向にある。これは授業でのスピーキング活動が楽しく、さらに上達したいという意識が高まっていると考える。今後、さらに英語を学んで話せるようになりたい児童を増やしていきたい。



【Q3について】
 90%の児童が英語を使って友達と楽しむことができていると回答している。Q2の「ゲーム」や「英語の活用」が起因しているものと考えられる。しかしながら、10%の児童は友達との英語活動が楽しめていない。そのため、友達と楽しくできる活動を取り入れていきたい。



【Q4について】
 76%の児童が英語を使って話してみたいと回答している。本校は世界遺産があり多くの外国の方が観光で来られる。観光で来られた際に、コミュニケーションを図る機会を設けたい。そうすることでさらに英語の活用が増えると考えられる。

【保護者、学校関係者からの意見・要望等】
 保護者、学校関係者ともに、親しむことに重きを置いて楽しみながら学習に取り組んでほしいという意見が多数であった。また、学んだ英語は活用を少しずつ図ってほしいという意見も見られた。

【考察・今後の展望など】
 どの項目も良好な結果が見られる。今後、日頃から英語を活用する活動を増やしたり、外国の方とのコミュニケーションを図るため、学んだ英語を活用できる機会を設定したい。外国の方の観光が多い三角町では、児童自ら英語を活用してほしい。